

令和3年度 中国・四国地区 図書館地区別研修 開催要項



主催：文部科学省、鳥取県教育委員会 主管：鳥取県立図書館
協力：公益財団法人日本図書館協会、全国公共図書館協議会、鳥取県図書館協会

1 趣旨

情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を行い、図書館における中堅の司書としての力量を高めることを目的とします。

2 期間

令和3年12月14日（火）～12月17日（金）

3 会場

鳥取県立図書館 大研修室（〒680-0017 鳥取市尚徳町 101 番地）

4 対象

- (1) 図書館法第2条に規定する図書館に勤務する司書で、勤務年数が概ね3年以上の方若しくは研修テーマに関連する業務に従事している方
- (2) 上記(1)と同等の職務を行う鳥取県教育委員会が認めた方

5 定員

120名（会場での受講：40名、オンラインによる受講：80名）

オンラインによる受講は、「Zoom」を使用します。

受講者の決定については、修了証書の取得を目的とする方を優先させていただきます。

（「7 修了証書」の項参照）

6 参加費 無料

7 修了証書

研修の概ね4/5以上を受講し、業務の改善提案・活用方法（研修内容・研修成果を踏まえた提案等）について、研修終了後2週間以内にレポート（1,200字程度）を提出した方に修了証書を授与します。

なお、オンライン受講についても同様の取り扱いとしますが、受講者の視聴環境により受講できなかった場合は、修了証書を授与できない場合があります。

8 日程等

(1) 研修日程

| | 12月14日(火) | 12月15日(水) | 12月16日(木) | 12月17日(金) |
|----------------|--|---|--|--------------------------------------|
| 9:30 10:00 | / | 受付 | 受付 | 受付 |
| 12:00 | | [講義①] 「ウイズコロナ時代の信頼できる医療情報の見分け方」 北澤 京子 氏 | [講義③] 「イマドキ図書館のリスクマネジメント」 千 錫烈 氏 | [講義⑤] 「居場所としての図書館を考える」 大谷 直史 氏 |
| 13:00 13:30 | 受付 | 休憩 | 休憩 | 12:00～12:15 閉講式 |
| 13:40 | 開講式 | [講義②] 「GIGA スクール構想と図書館の果たすべき役割」 稲垣 忠 氏 | [講義④] 「わかりやすい表現でサービスを届けよう」 打浪 文子 氏 | |
| 14:30 14:45 | [文部科学省説明] 文部科学省担当官 | 休憩 | 休憩 | / |
| 15:00 15:15 | 休憩 | [事例発表①②] 15:15～16:00 | [演習] 講義④と同じ | |
| 16:15 | [基調講演] 「図書館とともにつくる地域の未来」 吉成 信夫 氏 | 16:15 [施設見学] 鳥取県立図書館 | | |
| 16:45 17:15 | | | | |

※事例発表①「音読教室の実践」 中尾有希子（鳥取県立図書館）

事例発表②「本を貸すだけではない学校図書館支援センターの取り組み」 間久美子（鳥取県立図書館）

(2) 研修内容

「SDG s」をテーマとし、目標を達成するために図書館ができることを参加者と共に考える。

| | |
|------|--|
| 基調講演 | 「図書館とともにつくる地域の未来」 吉成 信夫 氏（ぎふメディアコスモス 総合プロデューサー） |
| | 人口減少や高齢化が進む中、子どもからお年寄りまで幅広い世代が最も利用する公共施設の一つである図書館に、まちづくりや地域活性化を支える役割を担う施設として期待が高まっている。 図書館が地域住民や地域の課題とどのように関わり、運営に取り組むことができるのか、今後の展望を考える。（SDG s 目標11） |
| 講義① | 「ウイズコロナ時代の信頼できる医療情報の見分け方」 北澤 京子 氏（医療ジャーナリスト） |
| | 新型コロナウイルス感染症拡大が抑制できない状況が続き、様々な情報が飛び交い、信頼できる情報を見極める必要に迫られている。ウイズコロナ時代に医療情報の信頼性を見極める方法を学ぶ。（SDG s 目標3） |

| | |
|-----------|--|
| 講義② | <p>「GIGA スクール構想と図書館の果たすべき役割」 稲垣 忠 氏（東北学院大学教授・学長特別補佐）</p> <p>GIGA スクール構想により、4月から各学校で1人1台端末の本格的な活用が積極的に進められている中、「情報の専門家」として学校図書館及び図書館関係者がどのように関わり、支援していくべきかを考える。（SDGs目標4、9）</p> |
| 講義③ | <p>「イマドキ図書館のリスクマネジメント」 千 錫烈 氏（関東学院大学 准教授）</p> <p>災害、情報セキュリティ、問題利用者等、図書館の安全を脅かすリスクは様々あり、図書館では日頃より危機管理に配慮し体制を整備しているところである。昨年から新たに感染症拡大リスクも図書館の大きな課題となっている。図書館における課題把握や更なる体制整備について学ぶ。（SDGs目標16）</p> |
| 講義④ 演習 | <p>「わかりやすい表現でサービスを届けよう」 打浪 文子 氏（立正大学 准教授）</p> <p>2019年に読書バリアフリー法施行、2020年には国の基本計画が公表され、鳥取県でも全国初となる推進計画を策定した。図書館においても、障がい者サービスをより一層推進するために、誰もが理解しやすい言葉遣いや文章表現等について基本的な事項を学ぶ。</p> <p>ワークショップでは、講義を受けて、図書館の利用についてわかりやすい言葉での利用申込書とイベントちらしを作成する演習を行う。（SDGs目標3、10、11）</p> |
| 講義⑤ | <p>「居場所としての図書館を考える」 大谷 直史 氏（鳥取大学 准教授）</p> <p>厚生労働省が2020年に公表した報告書によると、日本では約7人に1人の子どもが貧困状態にあるといわれる。社会的・人間的関係から疎外され孤立している子ども達を含め、様々な課題を持つ方々のために、居場所としての図書館の在り方を考える。（SDGs目標1、11）</p> |
| 事例発表① | <p>「音読教室の実践」 中尾 有希子（鳥取県立図書館 郷土資料課長）</p> <p>鳥取県立図書館では、2012年から図書館所蔵の絵本や詩などを参加者の方々で一斉に声に出して読む音読教室を開催している。県内の市町村立図書館にも普及し、多くの図書館で実施している。この取り組みについて紹介する。（SDGs目標3）</p> |
| 事例発表② | <p>「本を貸すだけではない学校図書館支援センターの取り組み」 間 久美子（鳥取県立図書館 学校図書館支援員）</p> <p>2015年に鳥取県立図書館内に開設した学校図書館支援センターの取り組みについて紹介する。（SDGs目標4）</p> |
| 施設見学 | <p>鳥取県立図書館が行っているビジネス支援、医療健康情報サービス、障がい者サービス、学校支援等、サービス推進を目的に設置している各コーナーを見学する。</p> |

9 参加申込

(1) 申込み方法

参加申込書に必要事項を記入のうえ、FAXをお送りいただくか、または、鳥取県立図書館のホームページの受付フォームからお申し込みください。参加申込書も同ページからダウンロードできます。

(2) 申込期限 令和3年11月18日（木）

(3) 申込み・問合せ先

鳥取県立図書館（担当：藤井、三田）

〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101

電話：0857-26-8155 FAX：0857-22-2996

E-Mail：toshokan@pref.tottori.lg.jp

10 施設見学

2日目（12月15日）の講義終了後、16時15分から鳥取県立図書館の施設見学を実施します。参加希望者は、参加申込書によりお申込みください。
定員20名。県外の方を優先します。

11 情報交換会

新型コロナウイルス感染防止のため中止します。御了承ください。

12 宿泊

宿泊は、各自、直接お申し込みください。

13 会場案内図



14 備考

新型コロナウイルス感染拡大や自然災害等の諸事情により、開催が困難と認められる場合は、研修を中止します。その際はメールにより御連絡しますので、予め御了承ください。

皆様の御参加を心よりお待ちしております。

